

# ごみ減量等リサイクルに関する 取組みについての市民アンケート 調査結果

平成24年1月  
山口市

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

この調査は、市民のごみ減量とリサイクルの取り組みの実態を把握し、山口市一般廃棄物処理基本計画（中間見直し）策定に係る基礎資料とするために実施した。

## 2 調査の対象

アンケートの調査対象者は、平成23年9月1日現在において山口市に住所がある18歳以上の市民4,100人を無作為に抽出した。（なお、報告書中の「発送数」については、無作為抽出した結果について種類別に集計したものである）

## 3 調査方法

郵送配布、郵送回収とした。なお、回答は宛名本人が記入することを原則としたが、本人が記入できない場合は家庭の中で普段ごみを主に取扱っている方に記入してもらうことにした。

## 4 調査期間

平成23年10月13日に発送し、同年11月30日到着分までを集計し・分析した。

## 5 回収結果

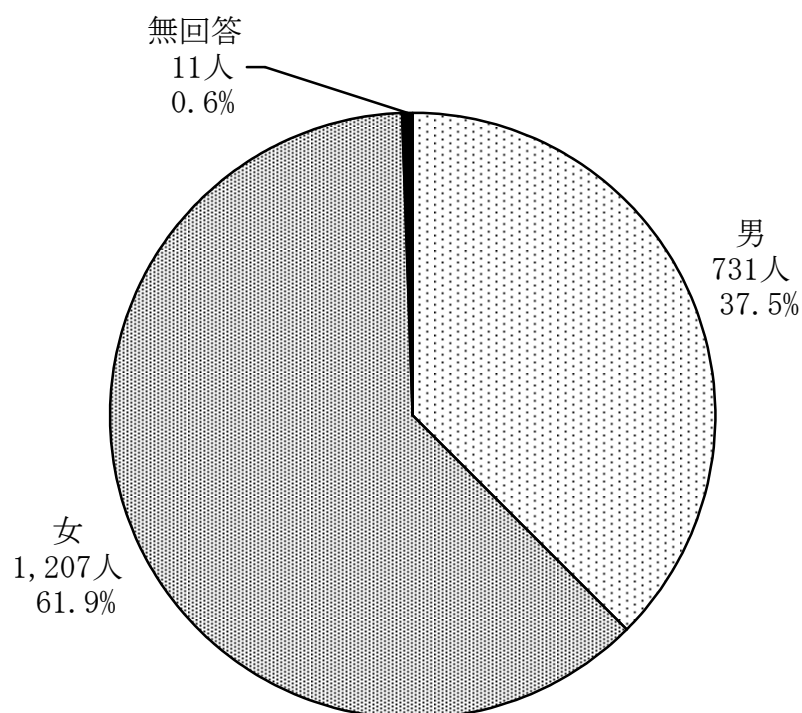
|           |         |
|-----------|---------|
| 発 送 数     | 4, 100人 |
| 転出等による返却  | 24人     |
| 対 象 者 数   | 4, 076人 |
| 回 収 数     | 1, 949人 |
| 有 効 回 収 率 | 47.8%   |

## Ⅱ 回答者の構成

### 1 性別

性別のアンケート発送数、回収数、回収率（回収数÷発送数）、回収者割合（回収数÷回収数合計1,949人）は次のとおりである。

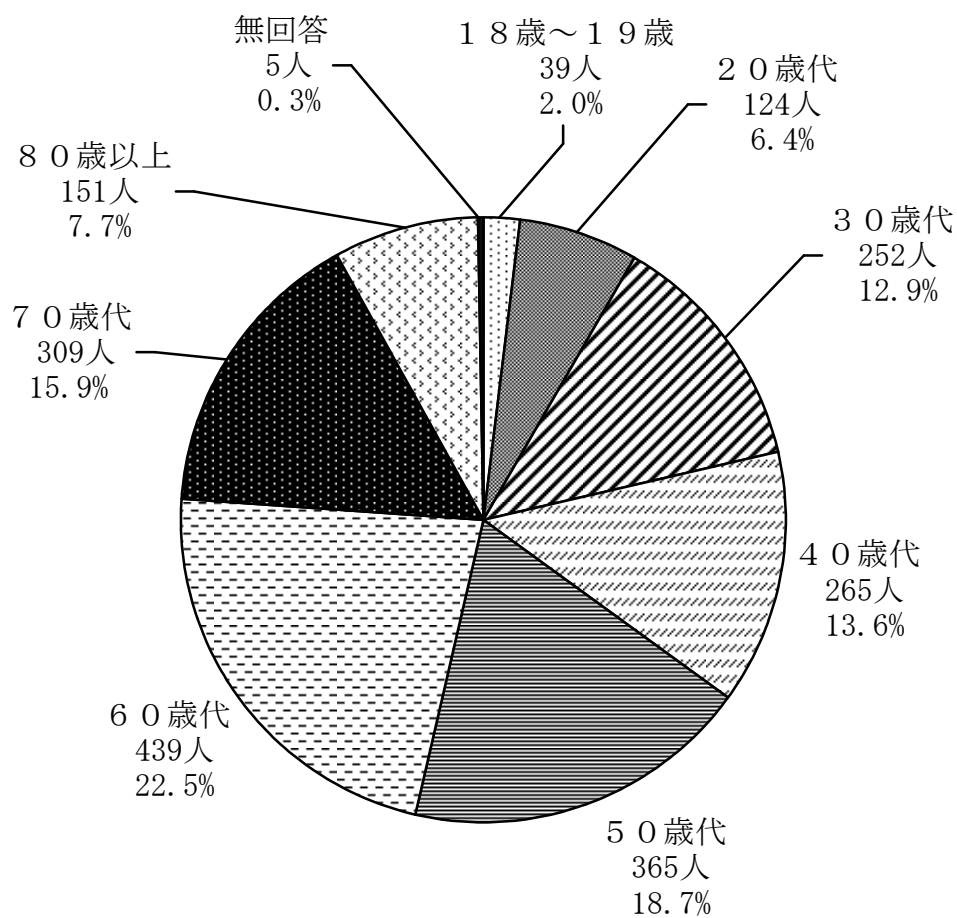
|       | 男     | 女     | 無回答  |
|-------|-------|-------|------|
| 発送数   | 1,965 | 2,135 | —    |
| 回収数   | 731   | 1,207 | 11   |
| 回収率   | 37.2% | 56.5% | —    |
| 回収者割合 | 37.5% | 61.9% | 0.6% |



## 2 年齢別

年齢別のアンケート発送数、回収数、回収率（回収数÷発送数）、回収者割合（回収数÷回収数合計1,949人）は次のとおりである。

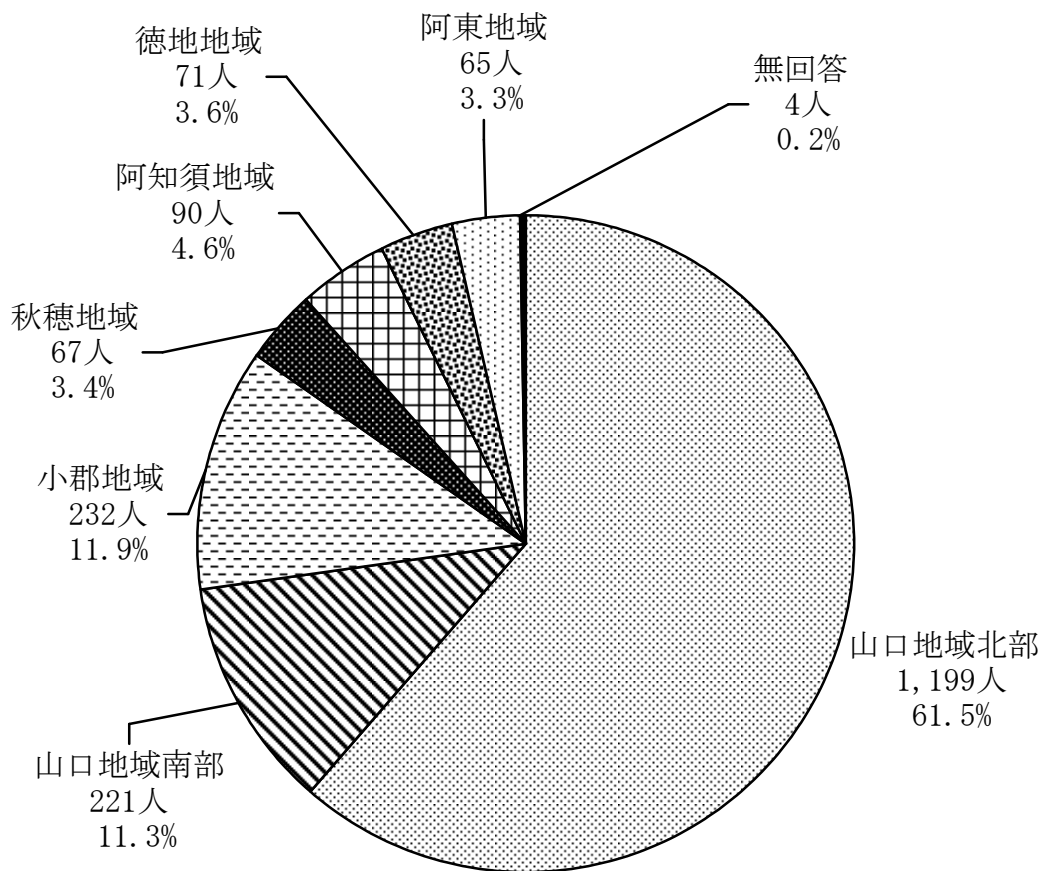
|         | 発送数 | 回収数 | 回収率   | 回収者割合 |
|---------|-----|-----|-------|-------|
| 18歳～19歳 | 132 | 39  | 29.5% | 2.0%  |
| 20歳代    | 547 | 124 | 22.7% | 6.4%  |
| 30歳代    | 652 | 252 | 38.7% | 12.9% |
| 40歳代    | 580 | 265 | 45.7% | 13.6% |
| 50歳代    | 627 | 365 | 58.2% | 18.7% |
| 60歳代    | 706 | 439 | 62.2% | 22.5% |
| 70歳代    | 484 | 309 | 63.8% | 15.9% |
| 80歳以上   | 317 | 151 | 47.6% | 7.7%  |
| 無回答     | —   | 5   | —     | 0.3%  |



### 3 地域別

地域別のアンケート発送数、回収数、回収率（回収数÷発送数）、回収者割合（回収数÷回収者合計1,949人）は次のとおりである。

|   | 発送数   | 回収数   | 回収率   | 回収者割合 |
|---|-------|-------|-------|-------|
| 山口地域北部<br>(仁保、小鯖、大内、宮野、<br>大殿、白石、湯田、吉敷、<br>平川、大歳) | 2,578 | 1,199 | 46.5% | 61.5% |
| 山口地域南部<br>(陶、鑄銭司、名田島、秋穂二<br>島、嘉川、佐山)              | 402   | 221   | 55.0% | 11.3% |
| 小郡地域  | 503   | 232   | 46.1% | 11.9% |
| 秋穂地域  | 148   | 67    | 45.3% | 3.4%  |
| 阿知須地域   | 192   | 90    | 46.9% | 4.6%  |
| 徳地地域  | 140   | 71    | 50.7% | 3.6%  |
| 阿東地域  | 137   | 65    | 47.4% | 3.3%  |
| 無回答   | —     | 4     | —     | 0.2%  |



### Ⅲ 調査結果

#### 1 家庭におけるごみ減量化・リサイクルの取り組みについて

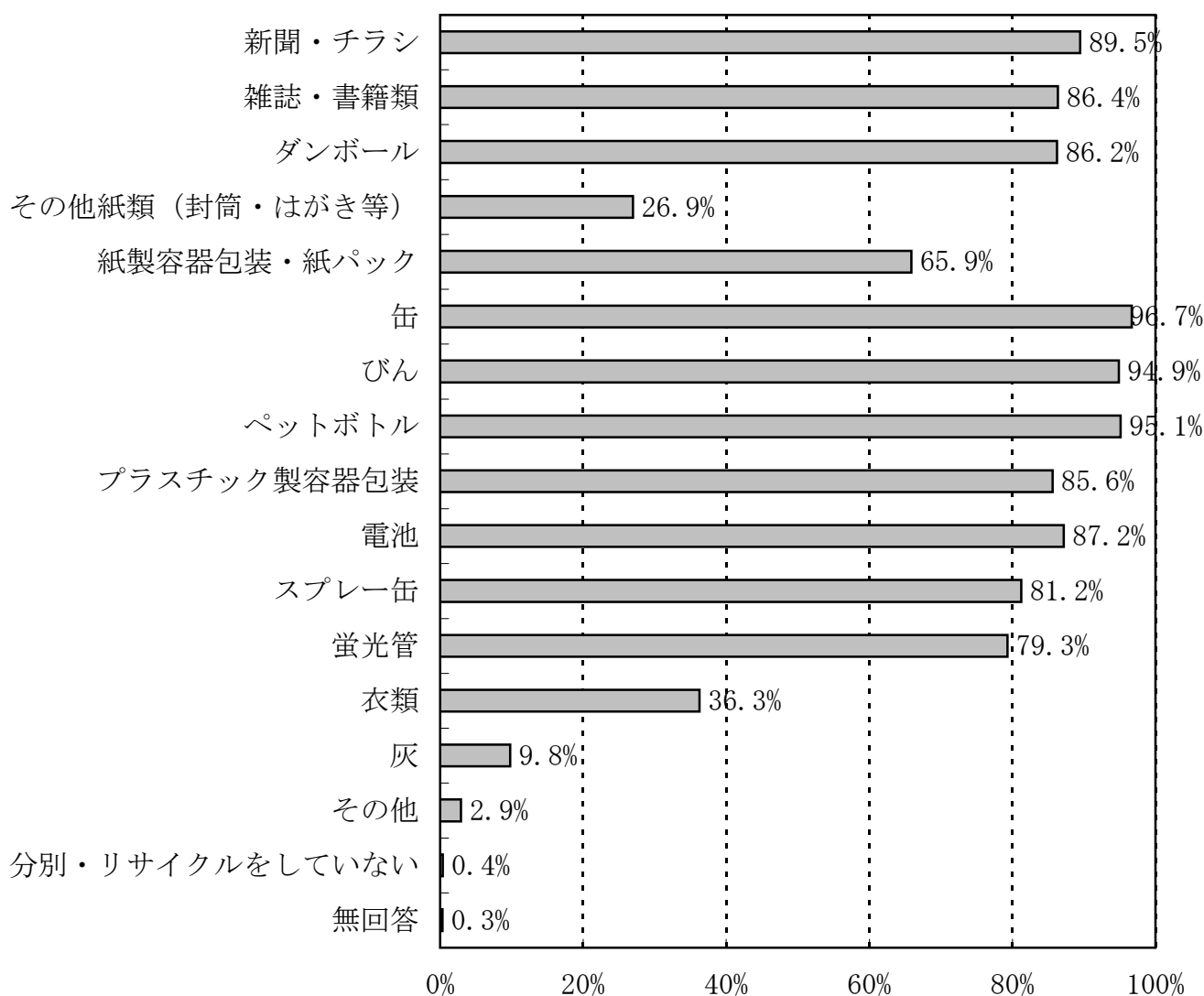
##### (1) 分別・リサイクルに取り組んでいる品目について・・・問1（該当項目すべてに回答）

市が分別品目と回収している11品目に加え「衣類」を品目として具体的に掲げ、それぞれの品目に係る各家庭における分別・リサイクルの取り組みの状況について調査した。

その結果、市の分別品目のうち、「缶」「びん」「ペットボトル」については90%以上、「新聞・チラシ」「電池」「雑誌・書籍類」「ダンボール」「プラスチック製容器包装」「スプレー缶」については80%以上、「蛍光管」「紙製容器包装・紙パック」については60%以上が分別・リサイクルされていることがわかった。「その他紙類（封筒・はがき等）」については、個人情報などが記載されているため、26.9%程度であった。

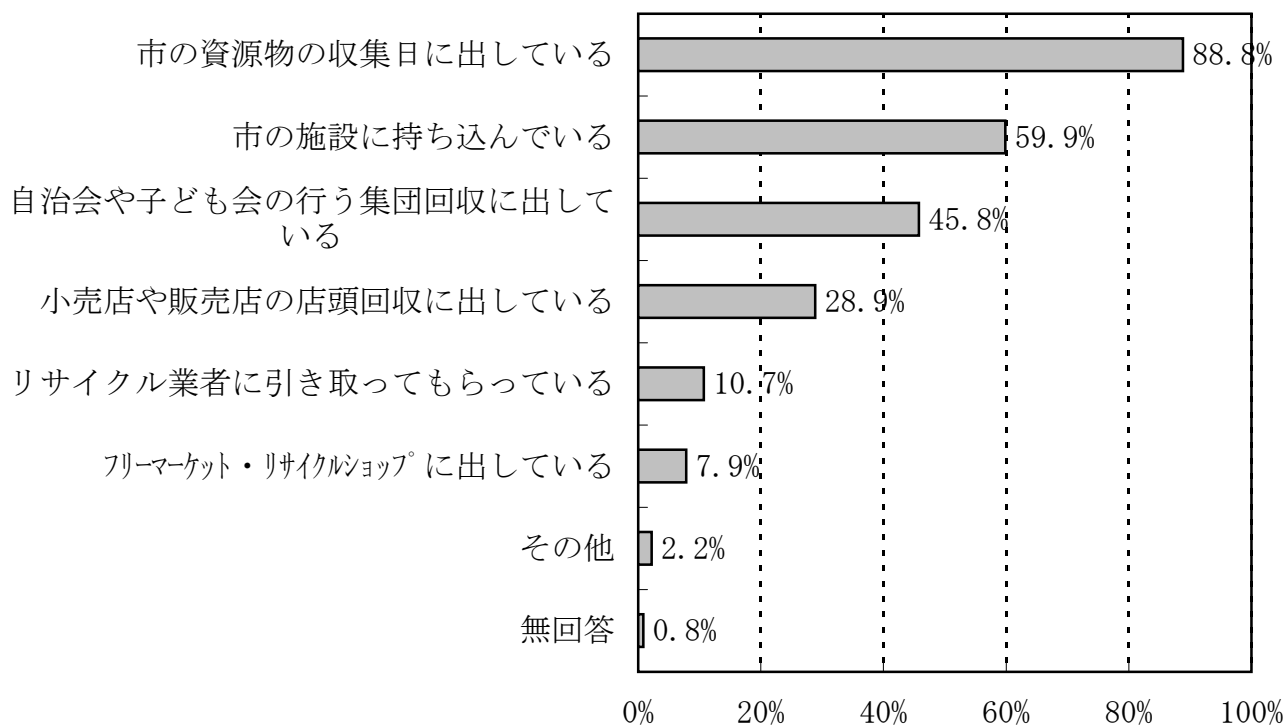
また、市の分別品目でない「衣類」については36.3%、「灰」については排出者も少ないことから9.8%程度であった。

「分別・リサイクルはしていない」及び無回答については合わせて1%未満であった。



## (2) 分別・リサイクルの方法について・・・問2 (該当項目すべてに回答)

各家庭がどのような方法によって分別・リサイクルに取り組んでいるのかを調査した。その結果、88.8%の家庭で市の資源収集を利用しており、市の施設への持込みも59.9%の家庭が利用されていることがわかった。また、集団回収についても、45.8%の家庭が利用していることがわかった。反面、リサイクル業者の引き取りは10.7%、フリーマーケット・リサイクルショップの利用は7.9%の利用率となっている。

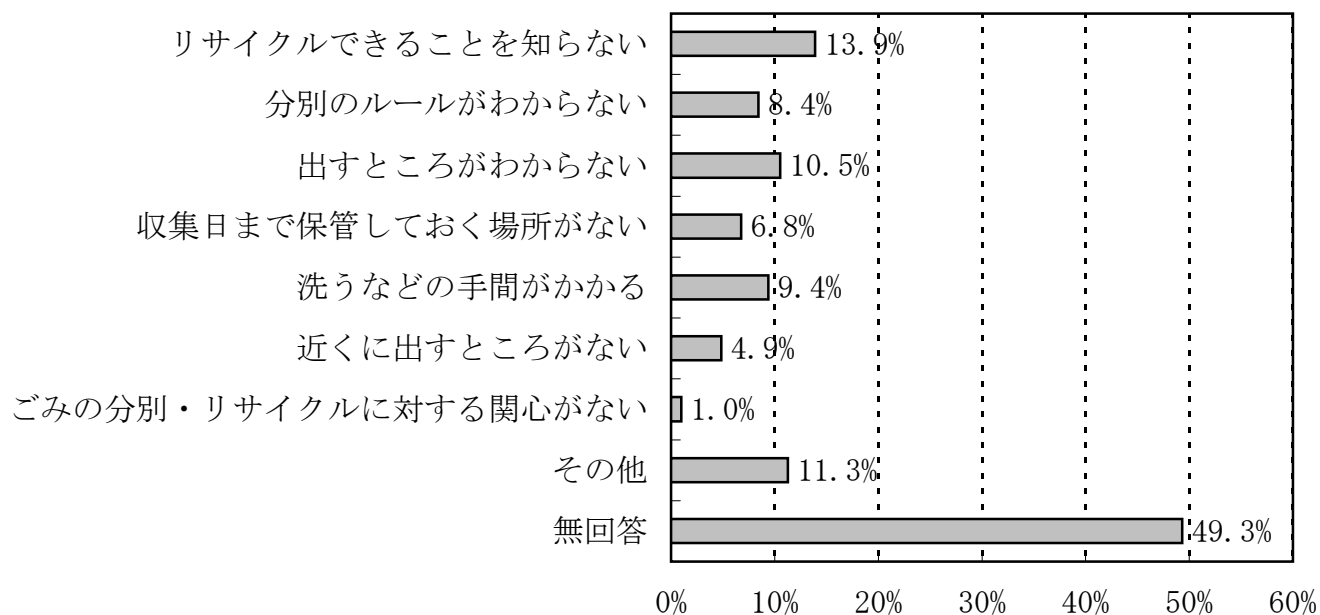


### (3) 品目によって分別・リサイクルに取り組んでいない理由について

・・・問3 (該当項目2つまでに回答)

(1) でリサイクルしていない品目がある家庭について、取り組んでいない主な理由を調査した。

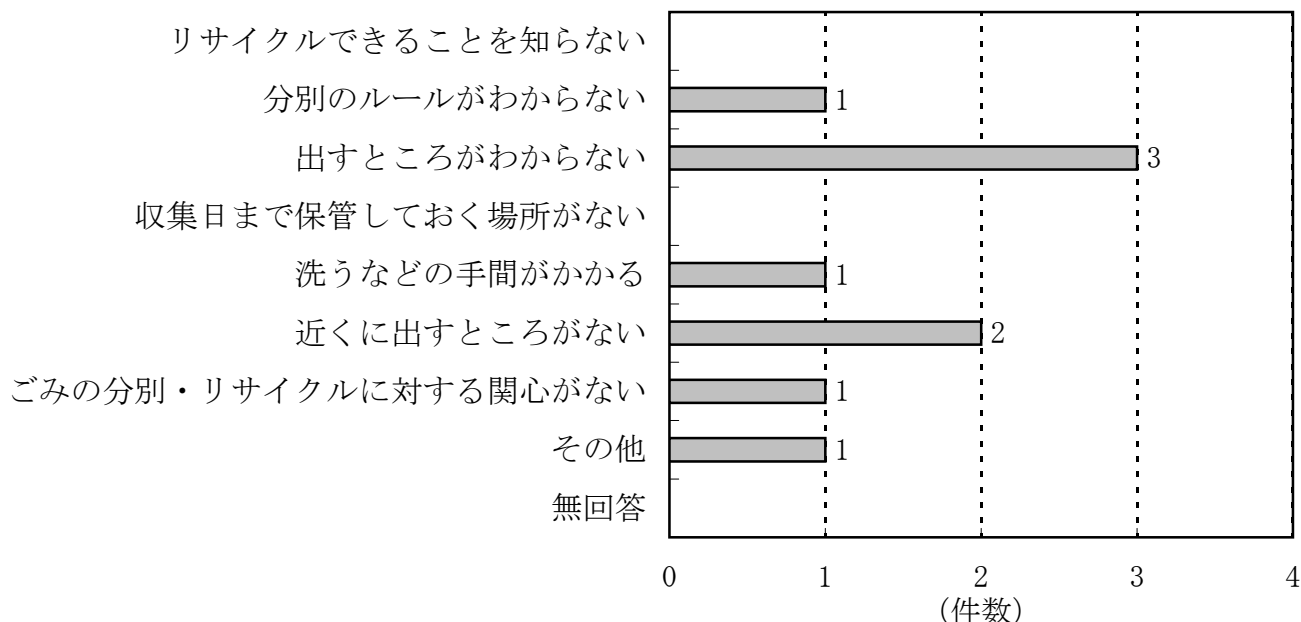
その結果、「リサイクルできることを知らない」という回答が最も多く13.9%、次いで「出すところがわからない」という回答が10.5%あった。



### (4) 全く分別・リサイクルを行っていない理由について

・・・問4 (該当項目2つまでに回答)

(1) で「分別・リサイクルはしていない」と回答した家庭についてその理由を調査したが、該当数が少なく次のような結果となった。

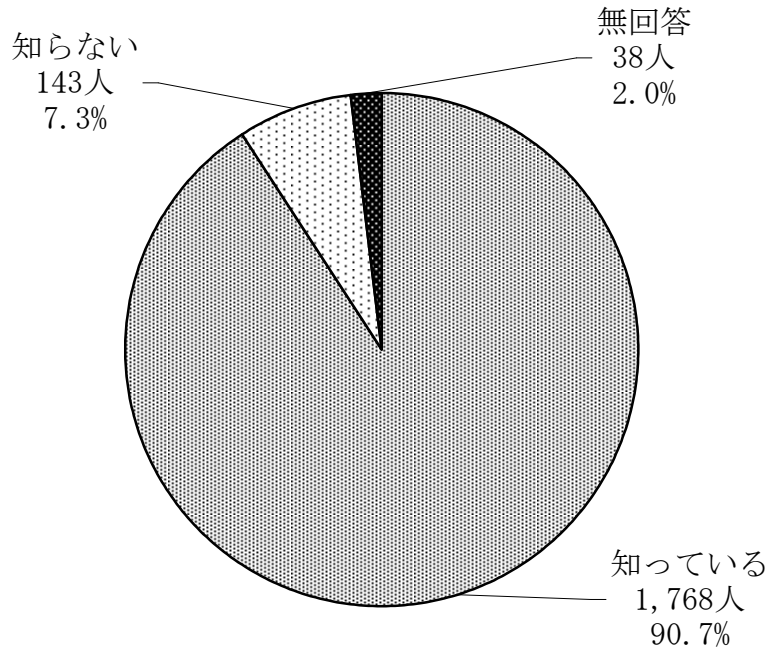




## 2市の施設の利用やごみ分別・リサイクルに関する情報源について

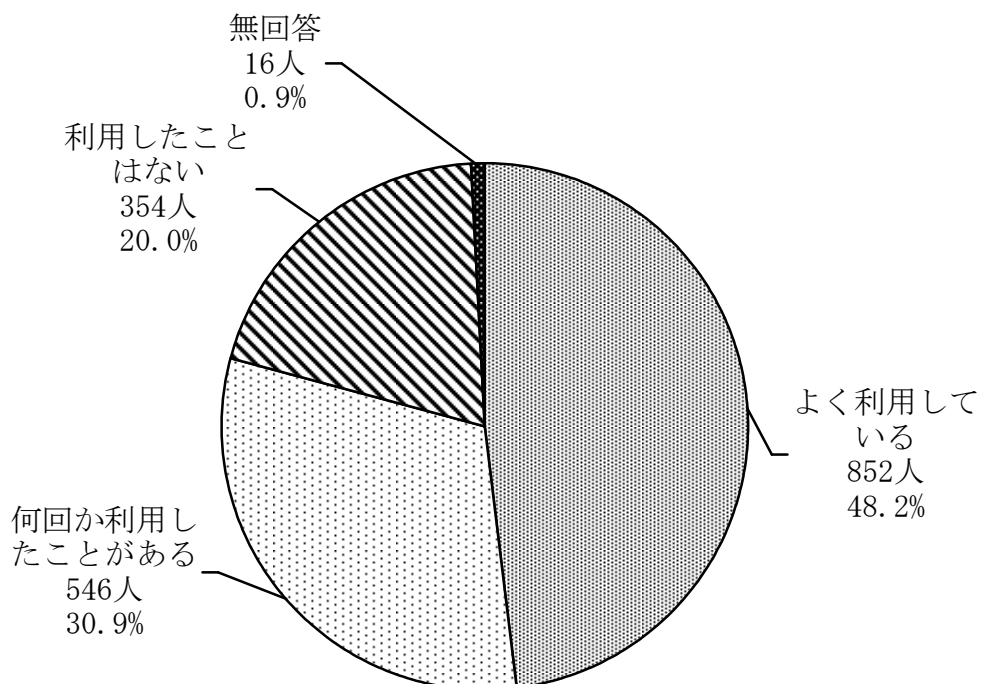
### (1) 資源物を持込める施設の認知度について・・・問5

資源物を持込むことのできる市の施設があることについては、「知っている」という回答が90.7%であった。



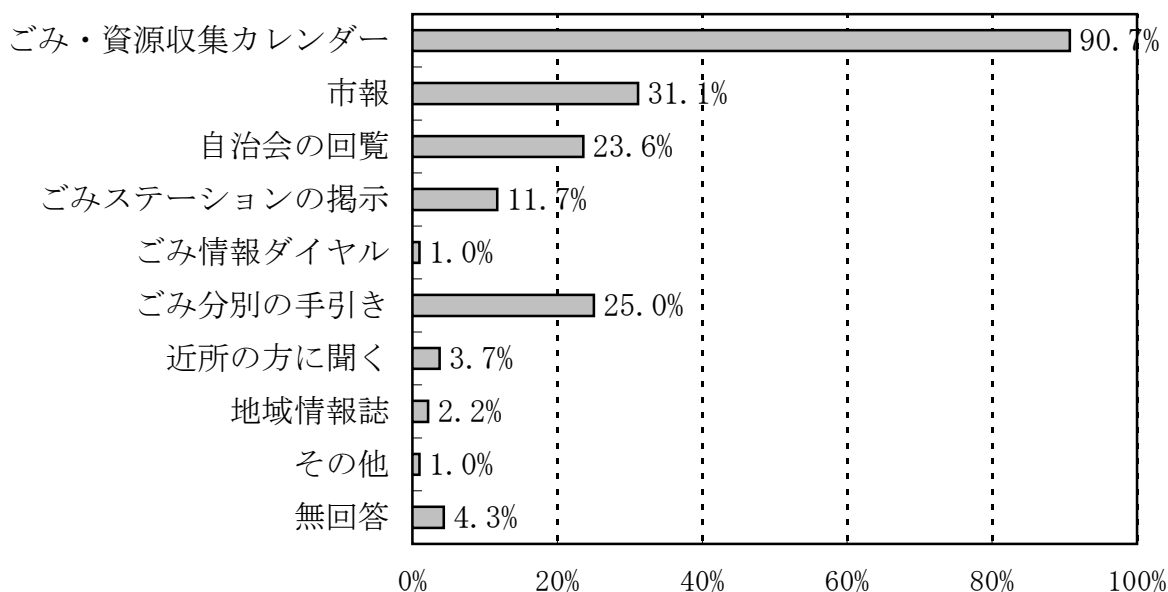
### (2) 資源物を持込める施設の利用度について・・・問6

(1) で資源物を持ち込める施設を知っていると回答した家庭のうち、「よく利用している」「何回か利用したことがある」のは、合わせて79.1%であった。



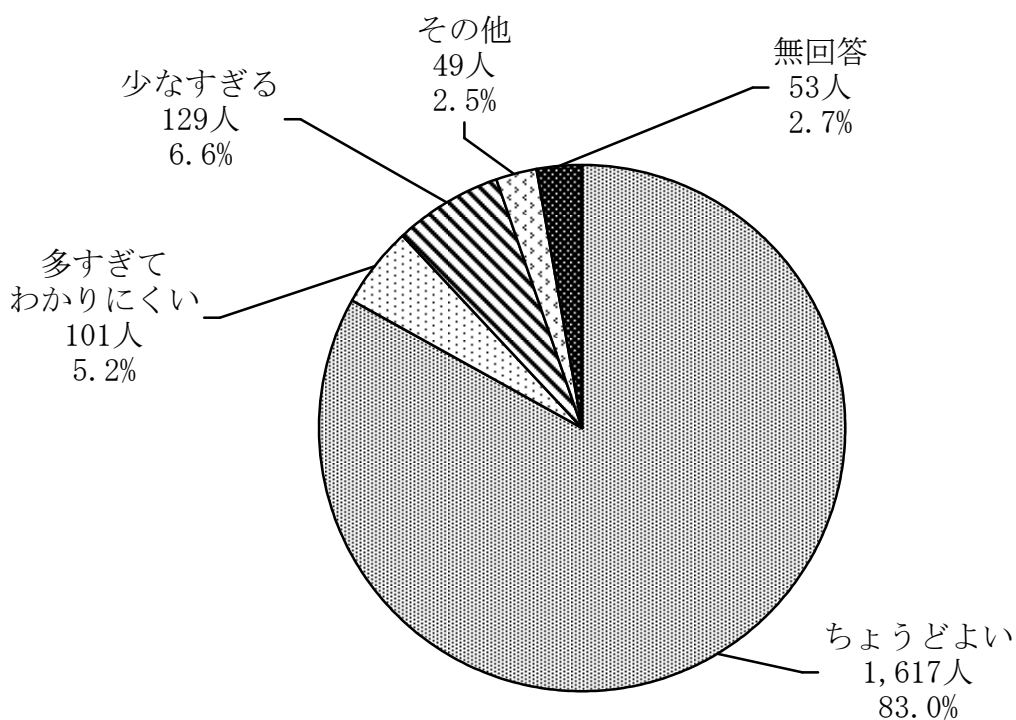
### (3) ごみ分別・リサイクルに関する情報源について・・・問7 (該当項目すべてに回答)

ごみの分別やリサイクルに関する情報は、「ごみ・資源収集カレンダー」から得ているという回答が最も多く90.7%であった。次いで「市報」が31.1%、「ごみ分別の手引き」が25.0%の順となっている。



### (4) 現在のごみ・資源収集カレンダーの情報量について・・・問8

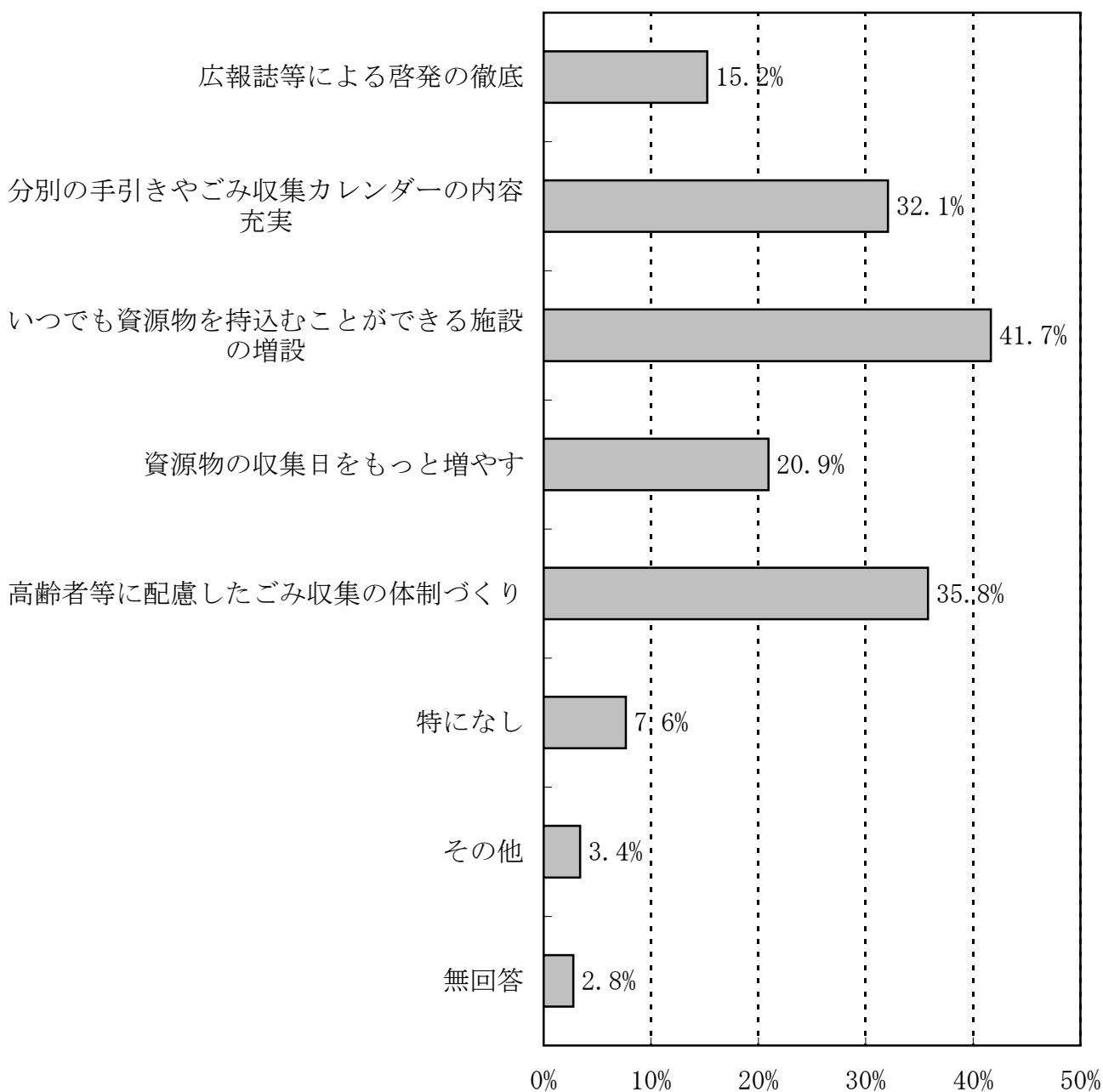
現在のごみ・資源収集カレンダーの情報量については、「ちょうどよい」という回答が83.0%であった。



### 3 その他、市の実施するごみ収集やリサイクルについて

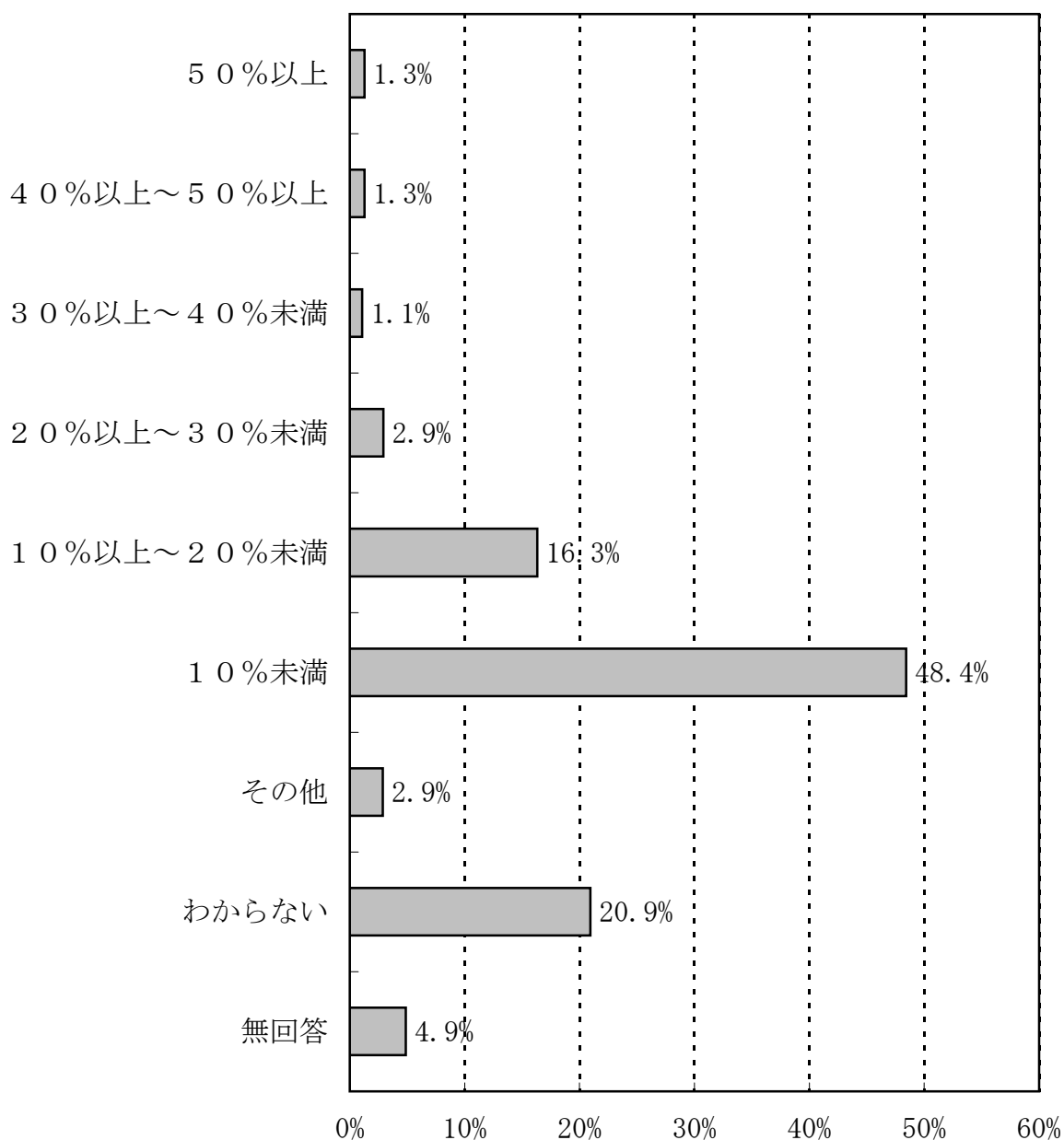
#### (1) ごみの分別やリサイクルを進めるため、今後、市が実施すべきと思うことについて ・・・問9（該当項目2つまでに回答）

今後、市が実施すべきと思うことについては、「いつでも資源物を持ち込むことができる施設の増設」がもっとも多く41.7%であり、次いで「高齢者に配慮したごみ収集の体制づくり」「分別の手引きやごみ収集カレンダーの内容充実」の順となっている。



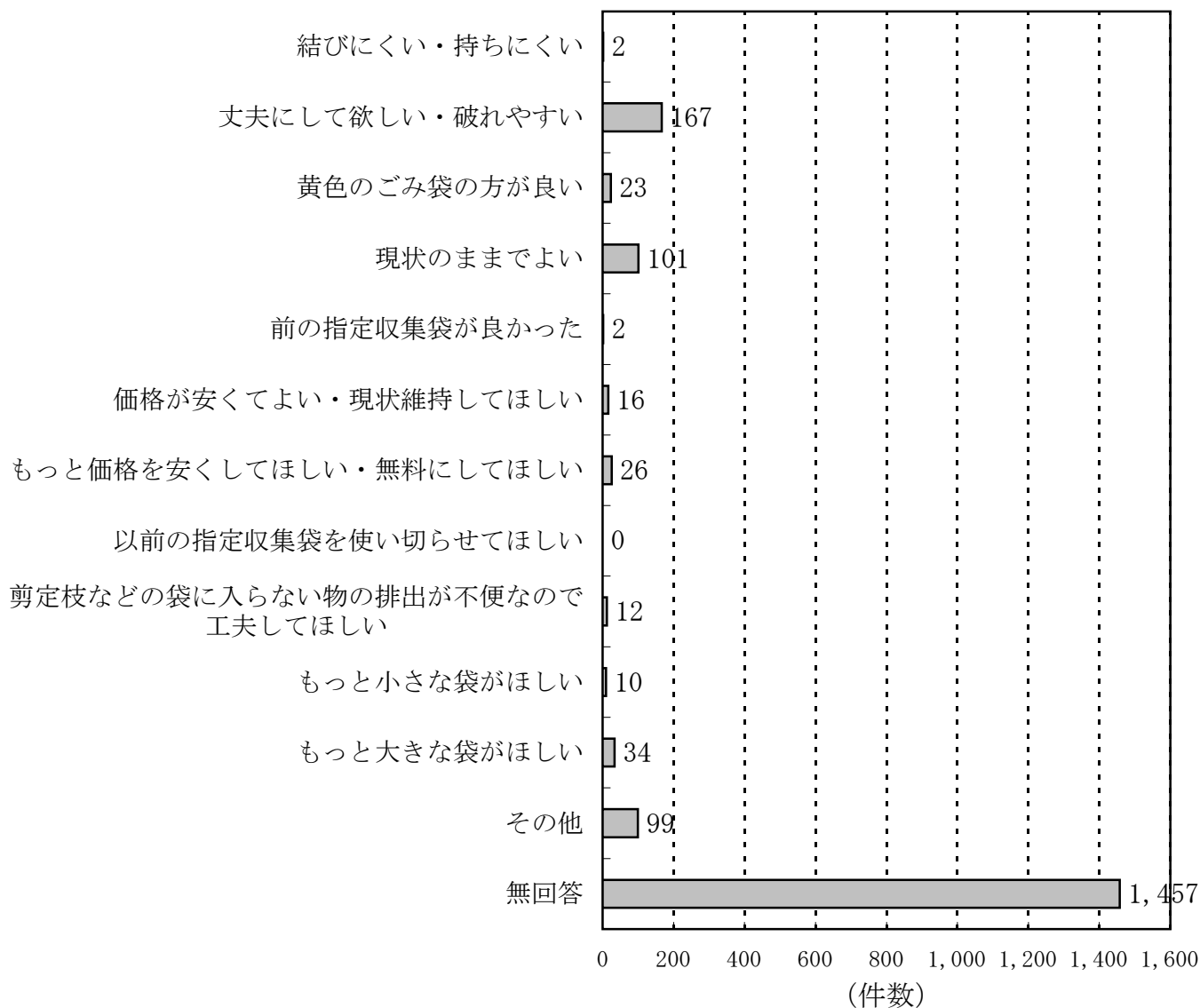
## (2) ごみ処理にかかる経費の排出者負担割合について・・・問10

ごみ処理にかかる経費の排出者負担割合については、「10パーセント未満」がもっとも多く48.5%であり、次いで「わからない」、「10パーセント以上～20パーセント未満」の順となっている。



### (3) 山口市の燃やせるごみの指定収集袋について・・・問11 (自由回答)

山口市の燃やせるごみの指定収集袋について自由回答による調査を行った。  
 意見の分類を行った結果、「丈夫にしてほしい・破れやすい」という意見が最も多く、次いで「現状のままでよい」という意見となっている。



#### (4) 市に対する意見や提案・・・問12 (自由回答)

ごみ収集やリサイクルについての市に対する意見・提言としては、要約して以下のよう  
なものがあった。

##### ①ごみ・資源物の収集について

- ・粗大ごみ（家具、布団、大型家電製品など）の収集をしてほしい。
- ・家電リサイクル対象品目とパソコンの収集をしてほしい
- ・収集日を増やしてほしい。（特に資源物）
- ・ごみの排出が困難な高齢者などに対する支援をしてほしい。（高齢者戸別収集など）
- ・休日・祝日も必ずごみの収集をしてほしい。
- ・可燃ごみの収集日を夏期だけでも増やしてほしい。
- ・乾電池、スプレー缶、蛍光管の収集をしてほしい。
- ・処理困難物（タイヤ、バッテリーなど）の収集をしてほしい。
- ・燃やせるごみ以外のごみについても指定収集袋にしてはどうか。
- ・いつも同じ時間に収集にきてほしい。

##### ②ごみの分別・リサイクルについて

- ・ごみの収集・分別の周知・徹底を図ってほしい。
- ・もっと詳しい分別の手引きがほしい。
- ・ステーションへの看板設置や冊子の配布などによりわかりやすくしてほしい。
- ・ごみ分別辞書を作成して配布してほしい。
- ・分別の効果やごみの行方などをもっとわかりやすく知らせてほしい。
- ・地区ごとに生ゴミ処理機や布団などの裁断機を設置してはどうか。
- ・紙類の排出方法が不便なため、工夫してほしい。（紙袋での排出など）
- ・違反ごみが多いので、分別説明会などを積極的にやってほしい。
- ・使い捨てライターの捨て方がわからない。
- ・ポイント制にしてみてもどうか。
- ・全ての資源物売却代金等を市報で公表してほしい

##### ③ごみ・資源物の持ち込み施設について

- ・周布町資源物ステーションのような施設を増やしてほしい。
- ・清掃工場や不燃物中間処理センターなどに土・日も持ち込めるようにしてほしい。
- ・乾電池・蛍光管などの回収場所をもっと増やしてほしい。
- ・資源物を持ち込める施設を増やしてほしい。

#### ④ごみ収集ステーションについて

- ・ごみ収集ステーションを増やしてほしい。
- ・不燃ごみや資源物を可燃ごみと同じステーションに出せるようにしてほしい。
- ・ステーションに出せる時間が短くて不便なので、8時半以降も出せるようにしてほしい。
- ・高齢のため、ステーションまでいくのが難しい。もっと近くにほしい
- ・排出したごみを野良猫などが荒らすため、大変困っている。
- ・資源物を出せるステーションをもっと増やしてほしい

#### ⑤その他

- ・ダンボールコンポストを推進してほしい。
- ・生ごみ処理に苦慮しているので、バイオなどを利用した方法の情報提供をしてほしい。
- ・交通量の少ない道路のポイ捨てが多い。
- ・小売店に協力してもらい、資源物の受入場所を増やしてほしい。
- ・高齢化等により、自治会運営が厳しくなっているので、自治会に負担をかけないように考えほしい。
- ・高齢化により、集積場所の清掃が大変。
- ・子供のときから「ごみ」について教育する。
- ・家庭などで焼却している人がおり、近隣の住民に迷惑をかけている。
- ・各地域でごみをエネルギーに変える施設を作り、熱、電気、ガソリン、軽油にする。
- ・不法投棄対策をもっと強化してほしい。
- ・事業者用の指定収集袋を導入するなどの対策を講じるべきではないか。
- ・ゴミ箱などに貼るシールなどを配布してみてはどうか。
- ・紙ひもを無償配布してはどうか。
- ・缶・びん・ペットボトルなどを洗ったりすることが本当にエコなのか。
- ・ルールを守らない人が多いので、袋に名前を書かせるようにしてほしい。